

# 市のテーマソング 7月公開

## ゆかりのミュージシャンとコラボ「歌い継がれる曲へ」

市は、枚方ゆかりのフォークデュオ「TANEBI (タネビ)」とともに、枚方市テーマソングの制作を進めている。メンバーの1人で枚方出身の上田和寛(うえだたかひろ)さんからの提案で、作詞・作曲はTANEBIが行う。また、ボーカリストは5月に市民を対象に公募し、応募があった50人の中から6月1日に7組の最終選考を実施。5日に最終合格者3人が決定した。6月中にレコーディングを行い7月には市ホームページで公開後、記念ライブを市内で開催する予定。上田さんは「地元で長く愛され、歌い継がれる曲にしたい」と期待を込めている。

- ★TANEBIは、枚方出身のシンガーソングライター上田和寛さん(40歳)と、乃木坂46や家入レオなどのヒット曲を送り出し、一昨年の第59回日本レコード大賞作曲賞を受賞した作曲家、杉山勝彦(すぎやまかつひこ)さん(37歳)の2人によるフォークデュオ。平成26年にメジャーデビューし、現在までに6枚のシングルと2枚のアルバムをリリース。東京や大阪など各地で積極的にライブを行うなど人気を集めている。
- ★音楽活動はもちろん、昨年大阪北部地震の際にコンサート会場で募った募金を市へ寄付するなど社会貢献にも積極的で、杉山さんは自身の出身地、埼玉県入間市の子どもの応援ソングを制作している。今回のテーマソング制作は2月、上田さんから「生まれ育った故郷のために歌を作りたい」という提案に、市が「まちを一緒に盛り上げていければ」と快諾したもの。7月を公開時期と定め、制作スケジュールをつめていった。
- ★曲制作に当たって、2人は「イメージや歌詞のヒントを市民らから得たい」と5月7日、個人のSNSで枚方の魅力を発信してもらおうと市が昨年呼びかけ結成された「ひらかたプロデューサーズ」のミーティングに参加した。「離れても戻ってきたくなる」「雨の日に子どもと山田池公園を歩いた思い出が懐かしい」「温かい夕日が似合う」など、枚方のまちのイメージや思いについて45人と活発な意見交換を行った。杉山さんは「皆さんのふるさとへの思いを存分に聞くことができ良かった。枚方のハッピーな部分はもちろん、見えない裏側まで深く掘り下げていきたい」と制作への意気込みを語った。
- ★また、TANEBIは「地元で長く愛される曲に」という思いから市民に歌ってもらいたいとボーカリストの公募を提案。市は5月初旬からSNSなどを使って募集したところ、2週間で小学生からシニアまで幅広い世代の50人から応募があった。一次審査は応募者から提出された音源をTANEBIの2人が審査する形で、音源がない応募者はFMひらかたのスタジオで録音した。その中から選ばれた7人が6月1日、TANEBIの前で歌う南部生涯学習市民センターでの最終選考に挑んだ。審査の結果、最終合格者3人が決定した。

裏面あり

★ボーカルオーディション最終合格者

根川萌(ねがわもえ)さん(14歳) →メイン版ボーカル

小学4年生時に学校の合唱団に所属し、現在は交野市内中学校コーラス部で全国出場を目指している。最終選考では「引き込まれるような魅力的な歌声」とTANEBIを驚かせた。「母の影響で物心ついた頃から歌が好きでした。『できることは何でも挑戦する』という気持ちでオーディションに応募しました。生まれ育った枚方への熱い想いを伝えたい。曲を聴いてくれた人に勇気と希望の歌声を届けることができれば」と意気込む。

古谷萌佳(ふるやもえか)さん(22歳) →メイン版ボーカル

最終選考で高音域の歌声が評価された古谷さんは現在、大阪市内の会社に勤務。大学時代には軽音部でボーカルを担当していた。「社会人として働きだして、改めて歌が好きだと感じていた。枚方で出会い関わってきた人たちへの感謝を自分の歌でたくさんの人に届けたい」と話す。

藤田彩夢(ふじたあやめ)さん(14歳) →ラップ版ボーカル

エイベックスアーティストアカデミーのプロフェッショナルコースで音楽を学ぶ藤田さんは、最終選考で「歌唱力が中学生とは思えない」と評価された。「夢はプロの歌手になって母校の枚方第二中学校で凱旋ライブをすること。支えてくれている人たちに歌を通じて恩返しできれば」と話す。

★テーマソングは現在TANEBIが制作を進めており、6月中には古谷さんと根川さん2名によるメイン版の歌をレコーディングして完成。7月上旬に市ホームページ上で公開を予定している(藤田さんが歌うラップ版のレコーディング時期は現在未定)。また、20日(土)に牧野生涯学習市民センターで開催される「TANEBIライブ@大阪～枚方温度、伝導ライブ」でTANEBI自らがステージで歌う。ライブのチケットは牧野生涯学習市民センターで販売中。1枚4000円。先着100人。

★完成した音源は無料ダウンロードにも対応する予定で、クラウドファンディングなどを活用したCDの制作も検討する。市の担当者は「小学校の音楽の授業で子どもたちに歌ってもらったり市内の合唱団のレパートリーに加えてもらったりなど、市民の皆さんに長く愛される活用方法をどんどん提案していきます」と意気込む。また、「残念ながら今回、合格とならなかった皆さんも個性派揃いで、枚方市民の持つパワーのすごさに改めて驚かされました。今後、市の魅力推進に協力いただける機会をつくっていききたい」と話している。

<お問い合わせ>

総合政策部 ひらかた魅力推進課 ☎072-841-1229 FAX072-841-3039